

道の駅「^{ぎん}銀の^{ばしゃみち}馬車道・^{かみかわ}神河」 完成式典において登録証の伝達式を行いました。

～姫路河川国道事務所～

かんざきぐんかみかわちょう

兵庫県神崎郡神河町(一般国道312号)田舎暮らしが体験できる道の駅「銀の馬車道・神河」完成式典において、^{した}信田姫路河川国道事務所長から、^{やまな かみかわ}山名神河町長へ登録証の伝達を行いました。

【道の駅完成式典】

日 時：平成29年11月25日(土) 10時30分～

場 所：道の駅「銀の馬車道・神河」

出席者：山名神河町長

神崎兵庫県会議員上野英一代理

兵庫県 田中中播磨県民センター長 他35名

近畿地方整備局道路部 石橋道路構造保全官

近畿地方整備局 信田姫路河川国道事務所長 他2名

【道の駅位置図】



▲左:山名神河町長 右:信田姫路河川国道事務所長



▲テープカットの様
左から

3人目 信田姫路河川国道事務所長
4人目 山名神河町長



▲名誉駅長との撮影

前列中央 名誉駅長
「ヨーデルの森スージー」さん
(ポニー)



▲左後方からの写真



▲馬車体験

北海道より招いた馬車

日本遺産認定！銀の馬車道・鉱山の道

平成29年4月28日、
日本遺産に認定されました！
「播但貴く、銀の馬車道 鉱山の道
～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～」

兵庫県の中央部に位置する播但地域。そこには姫路・飾磨港から生野鉱山を南北につなぐ一本の道「銀の馬車道」があります。

さらに生野鉱山から明延鉱山・中瀬鉱山をつなぐ「鉱山の道」が続きます。わが国屈指の鉱山群をめざす全長73kmの道は、今も各地域に宿場町の町並みや坑道跡といった明治の面影を残しています。神河町は、先人たちが残したこの歴史遺産を地域の魅力として活かすべく、関係市町(養父市・朝来市・市川町・福崎町・姫路市)と連携して日本遺産認定申請をしていました。

道路のメンテナンス老朽化 パネル展示を併せて実施



【問い合わせ先】



国土交通省
〒670-0947

近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 道路管理第二課
姫路市北条1-250 TEL 079-282-8211(代表)